

外国語活動学習指導案

- 1 日時
- 2 学年
- 3 単元名 I like Mondays. 好きな曜日は何かな? (Let's try! 2 Unit 3)
- 4 単元について

【単元観】

本単元では、学級の友達のことをもっと知るために、自分の好きな曜日とその理由を伝え合うことを最終的なゴールに設定した。

児童は、前単元でどんな遊びをしたいか尋ね合い、相手に配慮しながら自分の好きな遊びに誘う活動をしてきた。昨年度から様々な語句や表現を学んできたが、各単元の言語材料を場面に応じて活用できるようになるためには、児童にとって意味のある様々な場面で繰り返し使わせることが大切である。本単元では、既習事項である「I like～」 「I play～」を使いながら曜日の言い方に慣れ親しませる。児童に身近な曜日であるが、学校の時間割やテレビ番組、習い事等を思い浮かばせ、自分の一週間の生活と結びつけて扱うことで、より意欲的に取り組むことができると考えられる。また、友達のことをよりよく知ろうという目的意識をもたせることで興味・関心をもって取り組むことができると考える。

【児童観】

本学級の児童は、3年生の時から週1回の外国語活動を楽しみにしてきた。4月初め、クラスが変わり、それまで一緒だった仲良しの友達と離れた児童もいるが、新しい出会いを大切にしていこうという意欲が見られる。

外国語活動の学習の中ではいろいろな友達と抵抗感なくペア活動ができる児童もいるが、一部の児童同士でしか活動しようとしないう児童もいる。また、ペア活動ではいきいきと表現できるが、全体の場での発表では自信がなく声が小さくなってしまいう児童が多い。肯定的評価を細やかに言い、自信をもって表現できるようにしている。

言語については、簡単な指示や3年生から慣れ親しんでいる表現はある程度理解することができている。しかし、「Tuesday」と「Thursday」、「Sunday」と「Saturday」等、少し似ている単語について正しく聞き取ったり発音したりすることが難しいところがある。

【指導観】

指導に当たっては、担任とALTがデモンストレーションし、児童におおよその内容を推測させ、単元のゴールイメージをもたせる。そして、「友達の好きな曜日は何曜日かな?」「好きな曜日やその理由を紹介したり尋ねたりしたいな!」という意欲につなげたい。好きな曜日は、週末に偏る可能性もあるが、同じ曜日でも理由は人それぞれあるという視点をまずもたせたい。その視点は、相手に伝えたい、聞いてみたいという気持ちにつながり、ゴールに向かうまでの各時間の学習が児童にとって意味のある活動になると考える。

単元の前半は、「曜日の歌」や「What day is it?」の表現に出会い、曜日の言い方や答え方の表現に慣れ親しませる。後半は、「一週間の予定クイズ」等も取り入れ、既習事項や曜日の表現を何度も聞いたり言ったりさせる。このような活動で十分表現に慣れ親しませ、単元のゴールにつながる言語表現を習得させていく。

本時においては、まず隣りの相手に伝えて練習をし、その後ペアを変えて活動をさせる。活動後、よかったペアを紹介し評価することで、めざす姿を全体で共有する。その後は時間を多く取り、くり返し違う相手と会話をさせる。終末はふり返りの時間を十分に取、充実感や達成感をもたせたい。

このように小学校中学年においては、正確な表現を求めるのではなく、相手とコミュニケーションを取ることが楽しいという経験を積み重ねていくことで、児童を英語表現に慣れ親しませ、自信や意欲を高めていくことが大切だと考えている。

5 単元目標

【コ】相手に配慮しながら，自分の好きな曜日について，その理由を含めて伝え合おうとする。

【慣】曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

【気】世界の同年代の子供たちの生活について，その共通点や相違点に気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
① 相手を意識して，自分の一週間の予定についてクイズを出したり答えたりしている。 ② 相手に配慮しながら，自分の好きな曜日やその理由を伝え合おうとしている。	① 曜日を聞いたり言ったりしている。 ② 自分の好きな曜日を言ったり相手の好きな曜日を聞き取ったりしている。	①世界の同年代の子供たちの生活について，その共通点や相違点に気付いている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	学級の友達のことをもっと知るために，自分の好きな曜日とその理由を伝え合う。
目指す発話例	What day do you like? I like Sundays. Why? Because～. / (英語での説明が難しい場合は日本語でも可とする)

8 言語材料 (下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
What day is it? <u>It's Monday.</u> Do you like Saturdays? Yes, I do. / No, I don't. What day do you like? I like Sundays. Why?	day,曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday) 果物・野菜(mushroom, watermelon) 飲食物 (soup, pie, sandwich) fresh その他児童が好きな曜日の理由に関する語彙

9 単元計画 (全4時間)

時	目標 (◆), 主なやり取り等 ・ = 誌面化されている活動	評価規準・評価方法
1	◆単元のゴールを知り，学習の見通しをもつ。 ◆曜日の言い方を知る。 ◆映像を見て，世界の子供たちの生活について知る。 ★Small Talk ★Let's Sing ・ Let's Watch and Think 1 A: What day is it? B: It's Sunday. What day is it? A: It's Friday.	【慣①, 気①】 行動観察・発言・振り返りカード分析
2	◆登場人物の一週間の予定を聞き取る。 ◆ゲームを通して，曜日の言い方や動作を表す語句に慣れ親しむ。 ★Small Talk ★キーワードゲーム ・ Let's listen ・ Let's play	【慣①】 行動観察・発言・振り返りカード分析

	<p>A: Do you like Saturdays? B: Yes, I do. / No, I don't. A: Do you like Mondays? B: Yes, I do. / No, I don't.</p>	
3	<p>◆一週間の予定を入れて、曜日クイズをする。 ◆好きな曜日について尋ねたり、遊びにさそう様子を見たりして、わかったことを書く。 ★Small Talk ・ Let's Play ・ Let's Watch and Think 2</p> <p>A: What day do you like? B: I like Sundays. A: Oh, I see.</p>	<p>【慣②, コ①】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析</p>
4 (本時)	<p>◆自分の好きな曜日やその理由を言ったり尋ねたりする。 ★Small Talk ・ Activity</p> <p>A: What day do you like? B: I like Sundays. A: Oh, I see. Why? B: Because～. / (英語での説明が難しい場合は日本語でも可)</p>	<p>【コ②】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析</p>

10 本時の計画

(1) 目標

- ・相手に配慮しながら、自分の好きな曜日について、その理由を含めて伝え合おうとする。

(2) 評価規準

【コ】相手に配慮しながら、自分の好きな曜日やその理由を伝え合おうとしている。

(3) 準備物

絵カード、ワークシート、振り返りカード

(4) 展開

児童の活動	指導者の活動・使用英語例		◎評価規準
	T1	T2(ALT)	
1 挨拶をし、曜日の歌を歌う。 ・ Let's Sing	<p>○挨拶をする。 ○歌いながら曜日の言い方に慣れ親しませる。</p>	<p>○Greeting ○一緒に歌う。</p>	
2 本時のめあてを確認する。	自分の好きな曜日とその理由を伝え合おう。		
3 Small Talk ① T1 と T2 ② T1 と児童	<p>○新出表現のみのやり取りではなく、既習表現も取り入れた言語活動を通して、定着を図る。</p>	<p>○Small Talk with T1</p>	
	<p>T1: Hello. T2: Hello. T1: What day do you like? T2: I like Sundays. T1: Oh, Sundays. Nice! Why? T2: Because,～. How about you? Etc.</p>		<p>デモンストレーション後、分かったことを聞き、その後の活動につなげる。</p>
	<p>○児童に、何曜日が好きな児童が多そうか、理由は何かを予想させ、その後の活動への意欲付けを行う。</p>		

<p>4 隣の席の友達と練習をする。</p> <p>5 席を一つずつずらしてペアを作り、好きな曜日とその理由を尋ね合う。</p> <p>① 1回目</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1: Hello. S2: Hello. S1: What day do you like? S2: I like Sundays. S1: Why? S2: (日本語で理由を言う) How about you?</p> </div> <p>② 中間評価</p> <p>③ 2回目</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1: Hello. S2: Hello. S1: What day do you like? S2: I like Sundays. S1: Oh, Sundays. Nice! Me too. I like Sundays. Why? S2: (日本語で理由を言う) How about you?</p> </div> <p>④ 全体の場で発表</p> <p>⑤ 分かったことや気付きを交流</p>	<p>○会話の流れを確認させる。理由について表現が難しい場合は、日本語を使ってもよいことを伝える。</p> <p>○活動後評価するために、しっかりと反応しながら聞いているペアを見つけておく。</p> <p>○中間評価をする。 ・よい児童を評価。 ・困ったこと・言いたかった表現があれば指導者が取り上げ、どんな伝え方ができるか全体で考えさせる。</p> <p>○少し長めに時間を設定し、複数の児童と交流できるようにする。</p> <p>○全体の場で紹介するペアを見つけておく。</p> <p>○よかったペアを紹介して全体で発表させる。</p> <p>○分かったことに加え、感想も発表させ、友達のことを深く知ることができたという実感をもたせる。</p>	<p>○Support students</p> <p>○Support students</p> <p>○If students are in trouble, think about hints together.</p> <p>○Support students</p> <p>○Encourage students with praise.</p>	<p>【コ】 ◎相手に配慮しながら、自分の好きな曜日やその理由を伝え合おうとしている。〈行動観察・発言〉</p>
<p>6 本時の授業を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例) いろんな友達にたずねる活動を通して、好きな曜日を伝えることができるようになりました。友達の好きな曜日の理由をちゃんと聞き取ることができたと思います。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例) ○○くんの好きな曜日がぼくと同じでした。でも、理由が○○だったのが意外でした。知らなかったことが分かってよかったです。</p> </div>	<p>○本時のめあてを再確認し、振り返らせる。(言語面だけでなく、内容面の振り返りも取り上げる)</p>	<p>○Make comments about communication.</p> <p>○Greeting</p>	

11 板書計画

Unit 3

I like Mondays. め 自分の好きな曜日とその理由を伝え合おう。

曜日カード

動作に関する絵カード

【単元のゴール】

自分の好きな曜日とその理由を伝え
合い、友達のことをもっと知ろう。